

令和元年度 第3回 射水市在宅医療・介護連携推進協議会議事録

日時 令和2年3月2日（月）午後1時30分～2時30分

会場 射水市役所 2階 201会議室

○ 議題

(1) 各部会の実施報告について

ア 在宅医療介護提供体制ワーキング部会

「在宅介護者への支援に関する取り組み」について

- ・今回作成した介護者支援パンフレット「射水市介護お助け隊」はケアマネジャーに配布し、家族支援をする際に使用していただくことになる。
- ・来年度の「食の取り組み」における、摂食嚥下支援は大切なことである。
- ・入院中に患者の状態をみて経口摂取とするのか、経管栄養とするのか判断されている。今後、市内の食支援に関する現状の把握や課題を出して、食支援を行う専門職のネットワークづくり等、体制づくりを実施していく。

イ 情報共有ツールワーキング部会について

「多職種連携支援システムの状況」について

- ・システムを活用していけるよう働きかけが必要であり、来年度、研修会を計画していく。研修会では、ICTツールを実際に使用しているところの実施状況を確認すると良い。

ウ 住民普及啓発ワーキング部会について

「在宅医療と介護を考える市民公開講座」について

- ・参加者が集まりやすい会場であり、1階フロアのみで全てを開催できたことが良かったので来年も同じ会場が良いと思う。
- ・今回の講師はとてもインパクトが強く、市民の方の記憶に残る講演会であった。来年も市民の視点で講師を選定していただきたい。

(2) 令和2年度ワーキング部会員の構成について

- ・ワーキング部会員の構成変更について事務局より資料説明を行い、委員の了承を得た。

令和元年度 第3回射水市在宅医療・介護連携推進協議会 次第

日時 令和2年3月2日(月)
午後1時30分～2時30分
会場 射水市役所 2階 201会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 各部会の実施報告について

ア 在宅医療介護提供体制ワーキング部会 (資料1)

「在宅介護者への支援に関する取り組み」

イ 情報共有ツールワーキング部会 (資料2)

「多職種連携支援システムの状況」

ウ 住民普及啓発ワーキング部会

「在宅医療と介護を考える市民公開講座について」 (資料3)

(2) 令和2年度ワーキング部会員の構成について (資料4)

3 閉 会

<参考資料>

- ・ 令和元年度ワーキング部会実施状況について (参考資料1)
- ・ 令和元年度在宅医療・介護連携支援相談窓口 実施状況について (参考資料2)



在宅医療介護提供体制ワーキング部会

在宅介護者への支援に関する取り組み

在宅での介護をできる限り続けることができるよう、在宅介護者への身体的・精神的な支援に関する取り組みを実施。

1 介護者アセスメント票の作成

「介護をしているあなたへの質問」(別紙1)

介護者アセスメント票マニュアル

「介護をしているあなたへの質問の利用について」(別紙2)

2 介護者向けのパンフレットの作成

「介護や生活のことなど、一人で抱え込まずにケアマネジャーにお気軽にご相談ください」(別紙3)

3 介護者支援のためのケアマネジャー向けのパンフレットの作成

タイトル「射水市 介護お助け隊」(別紙4)

4 ケアマネジャーへの啓発

介護者アセスメント票の活用方法や介護者支援に関する研修会を開催予定

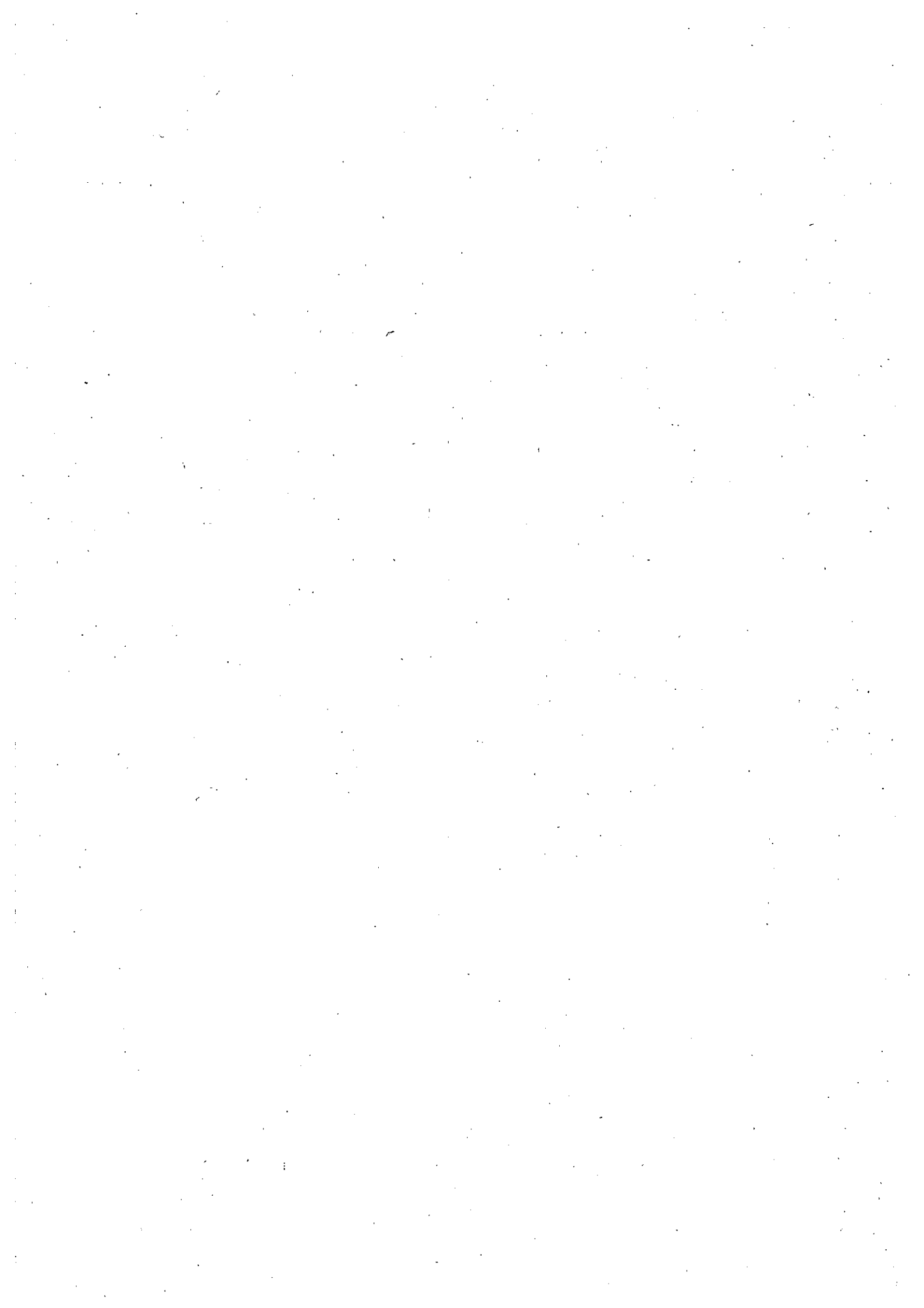
日 時 : 令和2年3月16日(月) 13:30~15:30

内 容 : 「日常のケアマネジメントにおける介護者アセスメントの必要性」

～介護者の人生そのものを支援するために～

NPO法人てとりん 代表理事 岩月 万季代 氏

5 令和2年度事業実施方針(案)について (別紙5)



介護をしているあなたへの質問



別紙1

この質問用紙は介護をしているあなたの体調や気持ちなどをケアマネジャーに伝えるためのものです。介護をしているあなたも含め、ご家族のより良い生活を一緒に考えるため、お答えできる範囲でご記入をお願いします。なおプライバシーの保護には十分配慮します。

介護者氏名 _____ 記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

問1 介護を始めてからどれくらいですか

ア 1か月以内 イ 半年以内 ウ 1年以内 エ 1年以上

問2 介護をしている人との人間関係についてどのように感じていますか

(1) 介護をする前

ア 良かった イ まあ良かった ウ 普通 エ あまり良くなかった

(2) 現在

ア 良い イ まあ良い ウ 普通 エ あまり良くない

問3 介護をすることについてどのように感じていますか

(1) 介護のために自分の生活（仕事や学業、家庭や社会の役割）に支障が出るのは

ア 構わない イ まあ構わない ウ やや抵抗がある エ 抵抗がある

(2) 自分が介護を担うことは

ア 構わない イ まあ構わない ウ やや抵抗がある エ 抵抗がある

問4 現在の自分の健康状態はどうですか

(1) 体調について

ア 良い イ まあ良い ウ やや良くない エ 良くない

(2) 持病など健康面で気になること

(_____)

(3) 睡眠について

ア よく眠れる イ まあ眠れる ウ あまり眠れない エ 眠れない

(4) 食事について

ア よく食べられる イ まあ食べられる ウ あまり食べられない エ 食べられない

(5) イライラすることは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

(6) 落ち込むことは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

(7) 孤立を感じることは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

問5 介護を実際に手伝ってくれる人は(家族、親戚、友人など)

ア いる イ いない

問6 困ったときに頼める人は(介護サービス事業者も含む)

ア いる イ いない

問7 悩みや気持ちを相談できる人は

ア いる イ いない

問8 介護に関する専門的なことを聞ける人は

ア いる イ いない

問9 介護の他にしていることは

ア 仕事 イ 子育て ウ 他の家族の世話 エ ボランティア

オ 学業 カ その他()

キ 特になし

問10 自分の時間を持つことは

ア できる イ まあできる ウ あまりできない エ できない

問11 介護をする中で、うまくいかなかったり困ったりすることはありますか

ア 買い物 イ 食事の用意(調理) ウ 掃除や洗濯 エ 食事介助

オ 口腔ケア カ 着替えの介助 キ 洗面・入浴介助 ク 排泄介助

ケ 服薬介助 コ 通院介助 サ 医療的処置 シ 金銭管理

ス 夜間の世話() セ 認知症状の対応()

ソ 仕事との両立 タ 親戚や近隣との人間関係 チ 介護事業所との関係

ツ その他()

問12 情報や支援を希望すること、ケアマネジャーに知っておいてもらいたいこと

自分らしい生活を送るためにどのように暮らしたいか、もしもの時の対応など

「介護をしているあなたへの質問」の利用について

医療や介護が必要な状況になっても、住み慣れた場所で自分らしく暮らすためには、要介護者のみならず介護者も支援する体制が必要です。このアセスメント票は、介護者の状況を把握し、早期に支援につなげることを目的に、射水市在宅医療・介護連携推進協議会「在宅医療介護提供体制ワーキング部会」で作成しました。介護者の状況を聞き取る際のツールとしてご利用ください。

1 アセスメント票の対象者

在宅で介護している家族等

※新規にアセスメントを行う際や介護の状況に応じて必要な方へ利用してください。

(このアセスメント票は利用を義務付けるものではありません。)

2 アセスメント票の使用法

介護者本人が記入できる場合は記入してもらい、内容に基づき、より詳しく状況や気持ちを聞き取ります。介護者本人の記入が難しい場合は、聞き取りで作成します。

3 聞き取りのポイント

- ・傾聴（話を聴く姿勢、あいづちなど）に努めましょう。
- ・介護者の方に焦点をあてていることを伝えましょう。
- ・話すことへの抵抗感がある介護者がいることも理解して接しましょう。
- ・介護に関する“認めてほしい”と思う気持ちを理解しましょう。
- ・要介護者に関わる悩みと介護者自身の悩みがあることを理解しましょう。
- ・個人情報の保護についても説明し、徹底しましょう。

～日本ケアラー連盟報告書より抜粋～

問1 介護を始めてからどれくらいですか

ア 1か月以内 イ 半年以内 ウ 1年以上 エ 1年以上

問2 介護をしている人との人間関係についてどのように感じていますか

(1) 介護をする前

ア 良かった イ まあ良かった ウ 普通 エ あまり良くなかった

(2) 現在

ア 良い イ まあ良い ウ 普通 エ あまり良くない

問3 介護をすることについてどのように感じていますか

(1) 介護のために自分の生活（仕事や学業、家庭や社会の役割）に支障が出るのは

ア 構わない イ まあ構わない ウ やや抵抗がある エ 抵抗がある

(2) 自分が介護を担うことは

ア 構わない イ まあ構わない ウ やや抵抗がある エ 抵抗がある

問1

介護を始めてから1か月間は、いろいろな困りごとが多く現れる時期のため、細かな声かけを行うなどの支援が必要です。

問2

介護をしている人との関係性は介護者のストレスに大きく関係します。「介護をする前」と「現在」に差がある時は、そのように感じる理由を聞き、支援が必要かを判断します。

問3

介護をすることについてどのように受けとめているのかを把握し、抵抗を感じている場合は、どのようなことに抵抗を感じているか等介護者の気持ちを聞き取り、傾聴します。

問4 現在の自分の健康状態はどうか

(1) 体調について

ア 良い イ まあ良い ウ やや良くない エ 良くない

(2) 持病など健康面で気になること

()

(3) 睡眠について

ア よく眠れる イ まあ眠れる ウ あまり眠れない エ 眠れない

(4) 食事について

ア よく食べられる イ まあ食べられる ウ あまり食べられない エ 食べられない

(5) イライラすることは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

(6) 落ち込むことは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

(7) 孤立を感じることは

ア よくある イ 時々ある ウ あまりない エ ない

問4

介護者の健康状態を確認する項目です。身体面(現病歴や既往歴)だけでなく精神面の把握として(3)~(7)の項目について主観的にどのように捉えているかを聞き取ります。健康状態が良くない場合は、かかりつけ医や専門医への受診を促すことが必要です。

問5 介護を実際に手伝ってくれる人は(家族、親戚、友人など)

ア いる イ いない

問6 困ったときに頼める人は(介護サービス事業者も含む)

ア いる イ いない

問7 悩みや気持ちを相談できる人は

ア いる イ いない

問8 介護に関する専門的なことを聞ける人は

ア いる イ いない

問5~問8

介護をするにあたり、協力体制や相談体制があるかどうかを聞き取ります。ケアマネジャーにどんなことを相談できるかを伝えます。

問9 介護の他にしていることは

ア 仕事 イ 子育て ウ 他の家族の世話 エ ボランティア

オ 学業 カ その他()

キ 特になし

問10 自分の時間を持つことは

ア できる イ まあできる ウ あまりできない エ できない

問9~問10

介護をする以外にどんな役割を持っているかを把握する項目です。介護者の生活を考える上で参考にします。

問11 介護をする中で、うまくいかなかったり困ったりすることはありますか

ア 買い物 イ 食事の用意(調理) ウ 掃除や洗濯 エ 食事介助

オ 口腔ケア カ 着替えの介助 キ 洗面・入浴介助 ク 排泄介助

ケ 服薬介助 コ 通院介助 サ 医療的処置 シ 金銭管理

ス 夜間の世話() セ 認知症状の対応()

ソ 仕事との両立 タ 親戚や近隣との人間関係 チ 介護事業所との関係

ツ その他()

問12 情報や支援を希望すること、ケアマネジャーに知っておいてもらいたいこと

問11

○のついた項目に対し、どのように実施し、どんなことに困るのかを詳しく聞き取ります。介護方法を習得するために必要な支援を提案します。

問12

介護者に自由に記入してもらいます。本人の状態に合わせて、今後の支援に必要なことについて聞き取ります。

【問12の聞き取り例】

- 今後、どのような暮らしを望みますか？(介護者はどう考えますか？/本人とは話合っていますか？)
 - 本人の状態が変化したとき、どうしたいと考えますか？
- (自宅で最期を迎えたいか？食べられなくなったらどうするか？など人生の最終段階における選択など)

(案)

介護や生活のことなど、一人で抱え込まずに ケアマネジャーにお気軽にご相談ください



あなたの担当のケアマネジャーは

(氏名)

(事業所名)

(連絡先)

(メモ)

Blank lines for writing notes.

医療や介護が必要になっても安心して地域で暮らし続けられるように
多職種が連携してサポートします。

介護者の相談

・自分の体力が悪く、介護が心配。。。。



ケアマネジャー

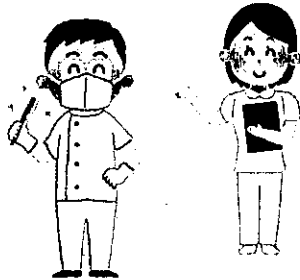


介護サービス事業所

食事やお口の相談

・食べるのに時間がかかるようになった
・お茶やお汁で済ませる ・口が乾く

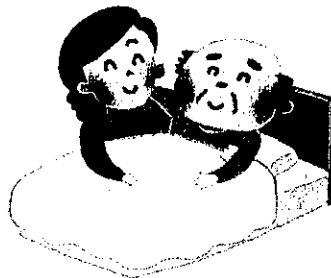
歯科医師
歯科衛生士



医師・看護師

住居の環境改善の相談

・「病、怪」が落ちてきたみたいだけど。。。
・「足」がでかい時どうしたらいいの？

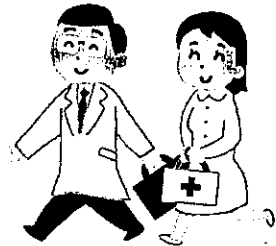


地域包括支援センター
認知症地域支援推進員

薬の相談

・薬を飲み忘れた時はどうするの？
・薬が足りなくなると困るけど。。。。

薬剤師

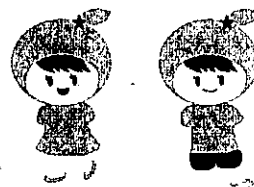


認知症の相談

・もの忘れがあるけど、認知症が心配

認知症ささえ隊

オリジナルマスコット「オレンジちゃん」



認知症に関する医療や介護について、認知症の方の対応等の相談に乗っています。

射水市 介護お助け隊 (案)

射水市地域福祉課・射水市在宅医療介護提供体制ワーキング部会作成(2019)

ケアマネジャーの皆様へ：このパンフレットを活用し、本人や介護者の支援ができる事業所をご紹介ください。このまま配布するのではなく、ケアマネジャーの皆様が選択してご紹介してください。なお、各事業所では利用者以外の相談も可能です。

訪問介護

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	射水市社協ヘルパーステーション	82-8455	利用者の体調変化を早急に介護者に伝え、連携を図ります。
	北陸メディカルサービス(株) 西部ステーション	83-7606	安全な介護方法について一緒に考えます。介護保険以外の自由契約(エプロンサービス)についてもご相談に応じます。
大門・大島	射水市大門在宅介護支援センター 訪問介護	52-7300	オムツ交換の仕方等、介護に関する不安をお伺いし、一緒に考えていきます。
	ポラリス介護サービス	52-5522	自宅から病院への送迎時に、お声かけをお願いします。
	ヘルパーステーションやまぶき	52-3356	介護技術に関する相談、指導を承っております。介護用品や消耗品の選び方、食生活に関する助言も実施しています。

通所介護(デイサービス) (地域密着型含む)

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	射水万葉苑 デイサービスセンター	82-8288	きめ細かな対応を心掛け、些細な事でもご相談にのります。お気軽に声をおかけください。
	ぶどうの木 デイサービス	82-1808	家族や利用者の話を聞くなど、改善が必要な場合は担当ケアマネジャーと連携を図ります。
	デイサービス癒さあ	73-8155	本人の状態に応じた移動や介護方法等について相談に応じます。
	ぶどうの木桜町デイサービス	84-2122	安全な介護方法、認知症の方への接し方等について相談にのります。
	片ロデイサービスわが家	86-6686	介護をされていて困っていることへの相談に応じます。自分でできることが増え、楽しく過ごせるようになる機能訓練を実施しています。
	いちにのさんぽ デイサービス (密着型)	86-0685	介護サービス利用の仕方、介護一般の相談、他事業所の紹介、福祉サービスの情報提供を行います。
	いちにのさんぽ総合 (密着型)	86-8655	自宅での問題行動への対応方法についてアドバイスを行います。家族介護者のストレス解消の支援や悩み事のご相談に応じます。
小杉	大江苑デイサービスセンター	55-8887	全スタッフが安全な介護方法や認知症の方への接し方について、ご相談に応じます。また、看護師は健康管理、理学療法士は住環境や介助方法、歯科衛生士は口腔内清掃方法を各専門スタッフがアドバイスを行うことができます。
	下村 デイサービスセンター (密着型)	59-2002	送迎時等に介護者の悩み事を聴くなど、ストレスをため込まないような支援を行っています。また、紙オムツ交換の仕方や移乗・移動の介助等の介護方法についても相談にのっています。いつでも気軽ににご相談ください。
	デイサービス雅 小杉 (密着型)	57-8873	自宅での困りごと、相談がありましたらいつでもお声をおかけください。
	エスポワールこすぎデイサービスセンター	56-0871	オムツのあて方、移乗方法、食事形態、口腔ケアの方法、認知症の方への接し方等、在宅介護における様々な悩みについて相談に応じます。
	太閤の杜デイサービスセンター	56-8730	認知症の方への関わり方や介護全般の相談にのり、対応を一緒に考えます。また、理学療法士は介助方法について、歯科衛生士は口腔トラブルの相談にのります。
	特定非営利活動法人 ふうらと(基準該当)	56-6661	お困り事はすべて相談に応じます。また、独自サービスの対応をしています。
	小さな幸せの家みず (密着型)	54-0870	ご家族の相談を受けています。
大門・大島	すずらん デイサービスセンター	52-7520	その方に合ったオムツ、紙パンツ、パッドの提案と当て方のアドバイスをします。また、認知症の方への接し方についてご相談にのります。
	いみずの里デイサービス (密着型)	73-2603	年齢や障害に関係なく誰もが利用できます。家族の介護負担が軽減できるようにご相談に応じます。

通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション (デイケア)

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	矢野神経内科デイケア	82-5128	身体に障害を持った方の寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本動作の相談や、住環境・福祉用具等に関する相談にのります。
小杉	老人保健施設 みしま野苑一棟	55-5005	自宅で家族が行えるリハビリの方法や留意点の相談、指導を行います。負担の少ない介助方法の指導を行います。自宅で安全に生活するために必要な介護用具やその使用方法、住環境の改善工夫について相談に応じます。在宅生活での不安や困難に感じていること等への相談支援を行います。
	山田医院	55-3322	自宅で介護を行うにあたり負担のない介護方法の指導、安全に生活するために必要最適な福祉用具の提案、住環境の改善、工夫の提案、相談に応じます。自宅で家族が簡単にできるリハビリの方法や留意点等の指導、相談に応じます。
大門・大島	くろみ介護センター	52-2580	理学療法士、作業療法士が安全な身体の動かし方や自宅でできるトレーニングについての指導を行い、住環境、福祉用具に関する相談に応じます。看護師等医療スタッフが状態を確認し、病状の変化への対応や助言を行います。

短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	特別養護老人ホーム 射水万葉苑	82-8282	在宅介護をしておられる家族が介護の不安や悩みがある場合はご相談ください。
	片ロショートステイわか家（基準該当）	86-6686	その方に応じた介護の方法（食事、排泄、移動等）や認知症の対応等、介護者の困りごとの相談に対応します。
小杉	特別養護老人ホーム 大江苑	55-8888	担当者会議等で在宅介護での悩みの相談に応じます。送迎時等に利用中のケア内容を参考に接し方、おむつの当て方、移乗方法や皮膚トラブル予防について助言させていただきます。
	特別養護老人ホーム エスポワールこすぎ	56-1078	排泄の介助方法や認知症の方への接し方等、在宅での介護における悩みや対応の仕方について相談に応じます。
	特別養護老人ホーム 太閤の杜	56-8727	介護に関する相談にのります。送迎時に声をおかけください。
大門・大島	特別養護老人ホーム こぶし園	52-6700	送迎時に介護方法や認知症の方への接し方等についてご相談にのります。
	特別養護老人ホーム すずらん	52-7520	自宅での様子を確認したり、ショートステイ利用中の様子を伝えたり情報の共有を図ります。困ったことや悩み事があればその都度対応します。

短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護（医療型ショートステイ）

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
小杉	老人保健施設 みしま野苑一穂	55-5005	自宅で家族が行えるリハビリの方法や留意点の相談、指導を行います。負担の少ない介助方法の指導を行います。自宅で安全に生活するために必要な介護用具やその使用方法、住環境の改善工夫について相談に応じます。在宅生活での不安や困難に感じていること等への相談支援を行います。
	山田医院併設介護療養型老人保健施設	55-3322	自宅で家族介護者が行えるリハビリの方法、負担の少ない介助方法、日常生活における留意点等の相談に応じます。安全に在宅生活を行うために必要な介護用具の選び方や使用方法、住環境の改善、工夫について相談に応じます。

福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与・特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	福祉用具なごみ	50-9340	在宅での介護や施設への入所など、介護の悩みをお聞きし、共に考えます。
小杉	ダスキンヘルスレント射水ステーション	55-8338	利用者や介護者の意向を確認し、ニーズ、住環境に合う福祉用具の導入や住宅改修等の住環境整備の提案をいたします。
	㈱ウィル	56-7099	福祉用具相談専門員が福祉用具に関する相談にのります。
大門 大島	ワイズケアステーション	52-0051	その方の状態に応じた福祉用具の提案や住宅環境の改善についてケアマネジャーと連携し、サポートいたします。

夜間対応型訪問介護

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	福祉プラザ七美	86-4545	紙オムツやパットの当て方ポイントや排泄介助の相談、起き上がりや立ち上がりの介助のコツや注意点を伝えします。TV電話を使用する夜間対応型訪問介護についてご説明します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	福祉プラザ七美	86-4545	紙オムツやパットの当て方のポイントや排泄介助の相談、起き上がりや立ち上がりの介助のコツや注意点を伝えします。介護を受ける側の日常生活リズムに合わせて一日に複数回の訪問介護、看護についてご説明します。

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	射水万葉苑 本町サポートセンター	83-7070	利用時に家族に見学をしてもらい、一日の流れ等を説明します。
	福祉プラザ七美	86-4546	家族の困っていること、心配なことを聞き、認知症の方への対応、介護疲れしないための工夫等の相談にのります。お気軽に声をおかけください。
小杉	おうちととなり	57-1118	家庭での認知症からくる周辺行動（徘徊、失禁、物忘れ等）の困りごとがある場合は相談に応じます。
	ケアホーム春らんまん	52-8899	認知症の方への接し方等の支援についてご相談に応じます。

小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	射水万葉苑本町サポートセンター	83-7070	本人や家族の希望を聞き、その方にあった通い、泊り、訪問を提案します。住み慣れた地域の社会資源の把握、活用に繋がります。
	りらいあんず	82-7272	通い、泊り、訪問を柔軟に組み合わせ、困り事をトータルにサポートしながら本人様に適したオールインワンのサービスを提供します。
	福祉プラザ七美	86-4545	必要に応じて「通い」「泊り」「訪問」を組み合わせ、家族の急な外出などにも柔軟に対応します。
小杉	ケアサークルひばり	55-8772	認知症の方を介護されているご家族の相談にのります。その他、おむつ交換や移乗方法等、身体介護でお困りの方の相談にのります。
大門・大島	社のつどい土合	52-6668	認知症の方の在宅生活でお困りの方の相談を受けています。
	風乃里水戸田	53-0008	通いを中心とした事業に応じて随時、「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供をしますので、困った事があればご相談にのります。
	生活支援ハウスふるさと	53-5245	日中に眠り、夜中に起きてトイレに行ったり、廊下を歩くため、家族が眠れない等の昼夜逆転の原因を一緒に考えます。

看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	ケアホーム新湊あいの風	54-6444	射水市に住所を有する方を対象として「通い」を中心に、希望や状態に即して「泊り」、「訪問」のサービスを提供します。いつもの看護師が血糖値測定等「医療的ケア」を、またその人の状態に合わせた「看護ケア」を行います。

訪問入浴・介護予防訪問入浴

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
大門・大島	射水ライフ・サポート	73-2614	看護師を含めたスタッフ3名により、自宅で安全で安心な入浴を提供します。移乗方法や洗体方法等のご相談に応じます。

訪問看護・介護予防訪問看護 ※ステーションのみ掲載

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	アルペンリハビリ訪問看護ステーション いみず	82-7822	看護師が健康管理や薬に関する相談にのります。理学療法士が介助方法や住環境、福祉用具に関する相談にのります。
	訪問看護ステーションなでしこ	86-3350	看護師が健康管理や内服管理を行っています。また、主治医とケアマネジャーと連携を取り、一人ひとりに合った在宅生活をサポートしています。
	あいの風訪問看護ステーション	73-9050	看護師が自宅に伺い、ご家族の身体的、精神的な支えになれるようケアをいたします。
小杉	富山福祉短期大学訪問看護ステーション	55-2941	介護方法等についてご家族の相談に応じます。
	結リハビリ訪問看護ステーション	73-2719	看護師による医療処置や服薬管理、セラピストによるリハビリや住環境、福祉用具に関する相談も承ります。
大門・大島	富山県看護協会 訪問看護ステーションひよどり	82-7191	看護師が健康管理、介護相談、在宅療養生活に関する相談にのります。多職種連携を通して安心できるように努めます。
	真生会 訪問看護ステーションこころ	52-6814	健康管理や薬の管理、栄養、食事摂取、床ずれ予防、寝たきり予防等の相談にのります。また、医療処置、管理があっても在宅療養を続けられるよう対応を一緒に考えます。
	射水ライフ・サポート	73-2614	利用者が安定した生活を送ることができるよう支援しています。医療、介護、福祉機関との連携を図ります。
	だいもん訪問看護ステーション	52-0125	看護師が病状や療養生活に関するケアとアドバイスを家族に行います。24時間365日、相談や緊急対応を行います。医師や関係機関と連携をとり、在宅ケアサービスの使い方を提案します。

訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション

地域	事業所	電話番号	PRメッセージ
新湊	矢野神経内科医院	82-5150	身体に障害を持った方の寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本動作の相談や、住環境・福祉用具等に関する相談にのります。
小杉	山田医院	55-3322	自宅で介護を行うにあたり負担のない介護方法の指導、安全に生活するために必要最適な福祉用具の提案、住環境の改善、工夫の提案、相談に応じます。自宅で家族が簡単に行えるリハビリの方法や留意点等の指導、相談に応じます。

認知症カフェ

認知症の人やそのご家族等が情報を交換したり、専門職に相談することができる認知症カフェを開催しています。

カフェではその他に歌を歌ったり、体操をしたりと楽しい時間を共有し、気分転換を図ることができます。認知症の人、ご家族、専門職、地域の方等どなたでもお気軽に参加できます。



たんぽぽカフェ 脳トレ体操の様子

〈たんぽぽカフェ〉 ☎84-5678 月1回開催
(特養) 射水万葉苑内、本町サポートセンター内
他出張カフェあり

〈七美カフェにじいろ〉 ☎86-2500 年4回開催
(特養) 七美ことぶき苑内

〈おれんじカフェ〉 ☎55-8888 月1回開催
(特養) 大江苑内

〈オレンジカフェさくら〉 ☎56-8727 月1回開催
(特養) 太閤の杜内

〈カフェなでしこ〉 ☎52-1556 年6回開催(要予約)
真生会富山病院内

〈いみずカフェ〉 ☎82-8100 年4回開催
射水市民病院内

家族介護教室

介護方法や療養方法に関する適切な知識や技術の習得や、介護者の健康管理等について援助指導を行うために、市内の居宅支援事業所にて開催しています。(毎年約10回)

《教室の内容》

○講義

- 「転倒予防について」
- 「おむつの活用法について」
- 「薬の知識について」

○情報交換会

等

その他のサービス

事業所	電話番号	内 容
射水市シルバー人材センター	55-8817	「シルバーたすけあい隊」：高齢者世帯の暮らしのお手伝い(電球交換、清掃、ゴミ出し等)
射水市社会福祉協議会	55-5202	「ケアネット活動」：地域住民と関係機関が一体となって見守り、日常生活支援を行います。

取組課題

在宅での介護をできる限り続けることができるよう
介護者への身体的・精神的サポートが必要

R2年度事業実施方針

(案)食支援の取組

「食べることは生きること」

食支援は その人らしく生きること、生活の質をあげることにつながる！

<取組として考えられること>

- ・オーラルフレイルの普及啓発や支援
- ・高齢者の食の確保(配食サービス等)
- ・在宅療養をする中での摂食嚥下等の支援



①現状を把握し、課題の抽出を行う

- ・摂食嚥下に関する相談は誰にどのように行うことができるのか
- ・食支援を行う専門職の連携は
- ・食事介助をする家族への支援は

②具体的な取組を検討する

- ・食支援を行う専門職のネットワークづくり
- ・摂食嚥下機能評価方法について

令和2年度のワーキング部会で「食支援」について検討

- 部会員(案) 医師、歯科医師、市民病院(地域連携室)
厚生センター、地域包括支援センター
【新】 栄養士、介護支援専門員等



情報共有ツールワーキング部会

射水市多職種連携支援システムの状況

1 システム導入までの取組

年度	取 組 内 容	
H29	H29年9月11日(月) H30年2月9日(金)	【情報共有ツールワーキング部会】 ICTツールの勉強会を実施、他市の状況確認
H30	H30年7月3日(火) H30年9月13日(木) H31年2月4日(月)	【情報共有ツールワーキング部会】 射水市で導入するICTツールについて具体的な検討 仕様書・システム機能要件(案)作成 公募型プロポーザルの実施要領(案)作成
	H31年2月20日(水)	【在宅医療・介護連携推進協議会】 情報共有ツールワーキング部会での案を報告・協議
R1	R元年5月22日(水) R元年6月5日(水)	【在宅医療・介護連携推進協議会】 射水市多職種連携支援システム構築及び運用保守業務に係る 公募型プロポーザル(第一次審査・第二次審査) ◎システムの決定 株式会社カナミックネットワーク「TRITRUS(トリトラス)」
	R元年7月2日(火) R元年8月6日(火)	【情報共有ツールワーキング部会】 システム利用の流れ、様式等の確認 システム利用申請書・説明用チラシ・同意書等の作成 システム利用規約の作成
	R元年9月5日(木)	射水市多職種連携支援システム利用説明会の開催 出席者数 187名(市内127施設) システム利用申請受付開始
	R元年10月1日(火)	射水市多職種連携支援システム運用開始 (管理・運営)射水市地域福祉課

2 登録施設数・ユーザーID発行数（令和2年2月20日現在）

	区分	施設数	ID発行数	施設PC	施設モバイル	個人PC	個人モバイル
1	医療機関（医科）	7	33	11	4	2	9
2	医療機関（歯科）	3	4	3	1	2	2
3	薬局	16	29	15	4	1	2
4	居宅介護支援事業所	14	40	38	4	0	0
5	地域包括支援センター	3	15	3	1	0	0
6	介護保険サービス事業所	25	82	54	37	6	0
	計	68	203	124	51	11	13

3 情報共有開始者

1	令和元年12月開始	84歳男性（要介護4） 医師・ケアマネジャー・訪問看護・定期巡回訪問介護
2	令和元年12月開始	71歳女性（要介護4） 医師・ケアマネジャー・訪問看護・訪問入浴
3	令和2年1月開始	87歳男性（要介護5） 医師・ケアマネジャー・訪問看護・訪問入浴・訪問リハビリ・薬局
4	令和2年2月開始	68歳男性（要介護5） 医師・ケアマネジャー・訪問看護・訪問入浴・訪問リハビリ・薬局

4 システムの活用に関する課題と今後の取組について

<課題>

多職種からのシステム利用申請はあったが、情報共有の開始はこれからであり、システムを活用していけるような働きかけが必要。

<今後の取組>

- ① 情報共有の実際やシステム活用のメリット等について関係機関へ再度周知を行う。（ワーキング部会で周知用の案内チラシを作成）
- ② 令和2年度にシステムの活用をテーマとした多職種向けの研修会を行う。

射水市多職種連携支援システムを利用した 情報共有をはじめませんか

システムを活用することで、1対1から多対多のコミュニケーションが可能になります！

- ・複数の支援者の情報共有がタイムリーにできる
- ・連携相手の状況や時間を気にせず、情報伝達ができる
- ・来所や電話、FAXなどを使用した情報伝達の時間削減、事務効率化

システム利用の流れ

<対象者>

- ・多職種が関わり、支援を行っている方
- ・身体状況の変化が著しく、連絡調整が頻回に必要な方
- ・外来通院していたが、訪問診療に切り替わる方 等

医療の情報と介護の情報の連携が図れるため
情報共有の必要な方は、システムの利用を
お勧めします！

～裏面の活用事例をご覧ください～

1 システムの利用を検討

上記対象者を参考に、情報共有の必要な方についてシステムの利用をご検討ください。
利用にあたっては、主治医または担当ケアマネジャーへご相談ください。

システムの利用手続きは、主治医及びケアマネジャーが行います。

2 システムを利用して支援する在宅療養者または家族へシステムの説明を行い、同意をとる。

【実施者】主治医またはケアマネジャー
説明用チラシ・同意書（様式4）を使用してください。

必要な様式は市ホームページ「いみず医療・介護情報」に掲載しています。

3 システム利用開始届(様式5)の作成

【実施者】ケアマネジャー
連携施設・担当者（システム内で在宅療養者の情報を共有する方）を確認し、記入する。
同施設で複数名の担当がいる場合は全ての方を記入してください。

システムを利用していない施設がある場合は、市から利用勧奨をしますので
下記事務担当までご連絡ください。

4 システム利用開始届(様式5)の写しを市へ提出

【実施者】ケアマネジャー
FAXでの提出も可能です。（送付間違いのないようご注意ください。）
原本は記入者が保管してください。

連携施設の変更があった場合は、様式5裏面を記入し、市へ提出してください。（FAX送信可）

システムの設定(市) ・ 情報共有の開始

<事務担当>

射水市役所地域福祉課

（在宅医療・介護連携支援相談窓口）

TEL 51-6625

FAX 51-6657

システムで情報共有した事例の紹介

射水さん（82歳、男性） - 医師・ケアマネジャー・訪問看護・訪問入浴・訪問リハビリ・薬剤師で情報共有

妻（78歳）と二人暮らし

射水さんはベッド上の生活で絶飲食中。輸液点滴がかかせない状況



システムの画面イメージ（実際のシステムでは新しい投稿が一番上に表示されます）

【2/5訪問状況】				重要度	☆☆☆
投稿No1：〇〇訪問看護ステーション 看護師 △△			実施日時 2020/2/5 15:00		
経口摂取の希望強く、再度絶飲食の説明をしました。訪問時に吸痰実施（昨日20時以降は吸引せずに経過）週3回の訪問に加えて緊急時に対応します。					
【物品について】					
次回訪問時にルート交換すると残数0です。緊急対応も考えられるため補充をお願いします。					
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2	
90/50	70	18	36.1	93	

医療物品の在庫を確認、報告することで医師・薬剤師と連携を図ります。

バイタルは定型フォームから入力します。経過をグラフでみることもできます。

相手の時間を気にせず、連絡できます。



訪問看護

本人やご家族の日々の様子を共有できます。サービス利用時に心配に思ったことを書き込めば他職種への対応時に継続支援をお願いできます。

ちょっとしたことの連絡も取りやすいです。



サービス事業所

訪問状況へのコメント			〇〇医院 医師 △△ 実施日時 2020/2/5 20:30		
物品は本日準備しますので、明日以降取りに来てください。緊急時の対応もよろしくお願いします。					

【2/7訪問入浴】				重要度	☆☆☆
投稿No2：□□訪問入浴 看護師 〇〇			実施日時 2020/2/7 13:30		
表情良。入浴時はお変わりなく、呼吸苦もありませんでした。					
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2	
94/49	76		36.2	93	

【2/8緊急訪問】				重要度	★★★★
投稿No3：〇〇訪問看護ステーション 看護師 △△			実施日時 2020/2/8 21:00		
呼吸苦があり、緊急訪問（SpO2 70%）					
奥から多量の痰を吸引し、1時間後にSpO2 91%まで回復。呼吸苦改善し、眠っていかれました。					
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2	
101/72	85	24	36.6	91	

状態の変化があった時などシステムで支援方針を伝えます。文字に残すことで確実性があります。（振り返って確認することもできます。）

診療の合間にシステムで状況確認ができます。



医師

【飲水指示】				重要度	★★★★
投稿No4：□□医院 医師 △△			実施日時 2020/2/17 13:30		
体調が落ち着いてきましたので、本人とご家族の意向を確認し、少しずつ飲水開始の指示をしました。					
血圧	脈拍	呼吸	体温	SpO2	
96/63	91		36.6	90	

サービスの利用状況を把握できるので必要に応じてケアプランを見直します。医療の情報もタイムリーに把握できます。

システム内でケース会議ができたり、TELや来所などの1人1人への連絡時間を短縮できます。



ケアマネジャー

飲水指示へのコメント			〇〇訪問看護ステーション 看護師△△ 実施日時 2020/2/18 13:30		
表情も良くバイタル安定しています。訪問時〇〇を摂取。ムセもありませんでした。					
コメント			△△訪問リハビリ 作業療法士□□ 実施日時 2020/2/18 16:30		
次週の訪問時に完全側臥位での嚥下訓練を行います。					

* 支援した全ての記録を残すものではありません。多職種と共有が必要な情報をピックアップして投稿します。

* 在宅療養では口腔ケアも重要です。医科歯科連携にもご利用ください。

* 老々介護や独居、認知症の方も増える中、支援者が見守りをしながらその人らしい生活を支援することが増えています。本人や家族の「ちょっと困ったな」に早めに気づき、チームで支援を検討するためにもシステムの活用をご検討ください。

住民普及啓発ワーキング部会

令和元年度在宅医療と介護を考える市民公開講座

～この街で この家で ずっとあなたといたいから～ 実施報告

日 時 令和2年2月11日（火・祝）午後1時半～3時半

会 場 救急薬品市民交流プラザ

来場者 約400名（スタッフ含）

内 容

○開会あいさつ 射水市在宅医療・介護連携推進協議会 高橋会長

○講演（午後1時35分～2時）

講 師 射水市民病院 院長 島多 勝夫氏

演 題 当院の在宅医療の取り組みと今後の連携の在り方について

内 容 射水市民病院での在宅医療を意識した地域密着型病院を目指すための取り組み紹介（地域包括ケア病棟、多職種連携に関する協議会、ワーキング部会の参加等）

○特別講演（午後2時～3時30分）

講 師 笑医塾 塾長 高柳 和江氏

演 題 医療や介護に活かす“笑医”^{わらい}の力

内 容 笑うことが病を遠ざけ、健康寿命につながることを医師としての経験や科学的根拠をもとに紹介

○関係団体パネル展示・相談会

パネル展示団体 医師会、歯科医師会、薬剤師会、射水市民病院、真生会富山病院
訪問看護ステーションひよどり、富山福祉短期大学
認知症地域支援推進員、保健センター
福祉用具展示団体 ダスキンヘルスレント射水ステーション

相談会 お口の健康相談会

相談件数 21件

年代 40～64歳 5件、65歳以上 16件

内容 本人の口腔管理について 19件

介護する際の口腔管理について 2件

薬剤師会健康相談会 体組成測定 50人

もの忘れ・認知症相談会

相談件数 44件

内容 もの忘れに関するチェックテスト

認知症予防についてのアドバイス

令和元年度射水市在宅医療と介護を考える市民公開講座 アンケート集計表

アンケート対象者：349名
アンケート回収数：185名 回収率：53%

1 講演及び特別講演の内容はいかがでしたか？

大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無記入	計
119	60	3	0	3	185
64.3%	32.4%	1.6%	0.0%	1.6%	100.0%

2 相談会やパネル展示の内容はいかがでしたか？

大変参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無記入	計
45	108	5	1	26	185
24.3%	58.4%	2.7%	0.5%	14.1%	100.0%

3 在宅での介護経験はありますか？

ある	ない	無記入	計
65	116	4	185
35.1%	62.7%	2.2%	100.0%

4 在宅での介護に対して不安を感じることはありますか？

大変感じている	多少感じている	感じていない	無記入	計
32	96	24	33	185
17.3%	51.9%	13.0%	17.8%	100.0%

具体的な内容（抜粋）

- ・介護を受ける人、家族の環境が変化するので、無理のないようやっていけるか不安を感じる。
- ・地域内に病院が少ない。夜間・休日の急変時の対応が心配。
- ・急に被介護者が倒れた時救急車を呼べばよいのか、病院へ運べばよいのか、判断が難しい。
- ・自分も年をとっていくのに在宅介護ができるか不安です。

5 在宅医療や介護について、最も知りたいと思う情報は何か？（複数回答可）

訪問診療・看護	訪問介護	介護方法	看取り	相談機関	体験談	特になし	その他	無記入	計
61	54	62	34	43	21	4	4	25	308
19.8%	17.5%	20.1%	11.0%	14.0%	6.8%	1.3%	1.3%	8.1%	100.0%

具体的な内容（抜粋）

- ・ヘルパーについて

6 あなたについて教えてください

所属の団体等 (複数回答)

民生委員・児童委員	ヘルスポランテニア	老人クラブ	ふれあいサロン	介護サービス事業所	その他	特になし	計
12	41	46	71	7	9	52	238
5.0%	17.2%	19.3%	29.8%	2.9%	3.8%	21.8%	100.0%

その他

- ・地域振興会 病院 メンタルヘルスサポーター 市職員

性別

男	女	無記入	計
49	127	9	185
26.5%	68.6%	4.9%	100.0%

年代

64歳以下	65~74歳	75歳以上	無記入	計
23	86	73	3	185
12.4%	46.5%	39.5%	1.6%	100.0%

4 在宅での介護に対して不安を感じること

- ・22年間介護、介護疲れ、ストレス、家庭崩壊
- ・十分な介護ができるか不安
- ・介護を受ける人、家族の環境が変化するので、無理のないようやっていけるか不安を感じる。仕事で携わっているが自分自身のこととっていない。
- ・共働きの家で老人の介護はどの程度できるのか。
- ・日毎に認知症が進行。
- ・アルツハイマーのため相手のことがよくわからない。
- ・母がホームに入所しています。入院するとホームを離れますが、そうなればどのような介護をしたらいいのか考えさせられます。
- ・風呂、トイレなどの介護
- ・介護される方の体調が悪くなった時の医師の対応。
- ・地域内に病院が少ない。夜間・休日の急変時の対応が心配。
- ・自分も体力がなくなってくる。
- ・入浴とトイレの問題。
- ・急に被介護者が倒れた時救急車を呼べばよいのか、病院へ運べばよいのか、判断が難しい。
- ・今まで介護することがなかった。これから高齢の二人暮らしなので。
- ・老々介護。子供に看てもらおう時、子供は勤務先を退職しなければならない？
- ・身内であっても迷惑はかけたくない、と思う気持ちと、身内に頼むよ、と言える境界線はどこでしょう？
- ・ケアマネさんが頼りになるからいい。太閤の杜さんに指導受けてます。「死ぬ」という大仕事をこなしながら自己完結したいです。
- ・子供がいないので将来老々介護になると思うとどうすればよいか今から考えていきたい。
- ・認知症が発症して初期で本人は認識が無く接し方がわからない。
- ・家族で支えればよいが、今は1、2人でみている方が多いので大変だと思います。老々介護が多い。
- ・介護者一人で生活していたので夜から翌日までの間が気にかかることがあり、夜中本人に携帯で連絡することがあった。私自身近くでの生活でしたので行き来に少し時間がかかり本人はすぐ来れると思っている。
- ・急に低下した時の対処法がわからない。
- ・今はまだ必要がないです。
- ・一日5回笑って5回感動する事、大変勉強になりました。
- ・尿をもらし風呂へ入る時。
- ・自分も年をとっていくのに在宅介護ができるか不安です。
- ・義母を100歳まで大江苑の通所のみで看取った。認知にもならず最後に私の手を両手で包み「ありがとう」と言ってくれた。
- ・一人なので今は元気だけど後のことを考えると不安です。
- ・認知症の方の介護、家族や周りの関わり方、介護力（独居、高齢者のみ、引きこもりのいる世帯など）
- ・全体的には介護という言葉は認知されてきているが、在宅介護に対し制度的にしびりを多くしようとしている傾向があるように見受けられる。
- ・笑いと楽天的になる、ポジティブに。
- ・家族に高齢者がいるから自分もいつ障がい者になるかが心配。
- ・夫婦二人でどちらかが要介護になるとどうすれば良いか不安。
- ・高齢者二人の生活であるため。
- ・私は現在64歳、同居の義母92歳。65歳で脳梗塞になり以後2度発症し現在車イスです。高齢でもあり近い将来介護が必要なのは覚悟しています。私が不安と思うのは自分の精神面のことです。
- ・一人で何でもできますが、いつ何が起こるかわからないので不安が少しあります。
- ・主人（脳梗塞）が週2回のリハビリに通所（3年目）レベルが↓。週1回ディケアを利用して欲しいが×。紙パンツを利用しているが尿漏れがよくある。
- ・在宅にての介護、子どもが理解するものか。
- ・私は主人の夜中のトイレ介護で膝を痛め3年前やむなく入所しました。後インフルエンザ、誤嚥性肺炎になりガタ落ちで何もできなくなり全て介助でお世話になっております。今私にできることは毎日手足のマッサージ。ほぼ反応なしの日も多くなりましたが「父さん気持ちいい？」の問いかけに（アー）と声を出してくれる日もあるので、それが私の楽しみでもあり生きがいです。頑張ります！！

5 在宅医療や介護について、最も知りたいと思う情報

- 今後必要になってくるかも。
- その時になってから考える。
- もう少し早く講演を聴きたかったです。102歳の母が昨年10月死亡して大変でした。
- ヘルパーについて
- 介護に対して知っている人と全く知らない人がいる事。全体に周知徹底している事が必要。民生委員へ。

令和2年度 各ワーキング部会員の構成について

団体名	在宅医療介護提供体制ワーキング部会	情報共有ツールワーキング部会	住民普及啓発ワーキング部会
射水市医師会	○	○	○
射水市民病院	○		
射水市歯科医師会	○	○	
射水市薬剤師会		○	○
富山福祉短期大学			○
高岡厚生センター射水支所	○		○
訪問看護ステーション		○	
真生会富山病院 地域医療連携室		○	
射水市居宅介護支援事業者連絡協議会	○	○	
介護サービス提供事業者			○
地域包括支援センター	○	○	○
富山県栄養士会	○		
委員数	7	7	6

<変更内容>

1. 射水市薬剤師会

在宅医療介護提供体制ワーキング部会 ⇒ 住民普及啓発ワーキング部会

2. 射水市居宅介護支援事業者連絡協議会

住民普及啓発ワーキング部会 ⇒ 在宅医療介護提供体制ワーキング部会

3. 新たに富山県栄養士会に依頼し、在宅医療介護提供体制ワーキング部会に栄養士を追加



ワーキング部会実施状況について

・在宅医療介護提供体制ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R 元年 7 月 16 日 (火) 19:00~21:00	射水市役所 302 会議室	6 名	・介護者アセスメント票及び利用マニュアルの作成について ・介護者支援パンフレットの作成について
R 元年 10 月 1 日 (火) 19:00~21:00	射水市役所 304 会議室	6 名	・介護者支援パンフレット (介護者向け、ケアマネジャー向け) の検討 ・介護者支援研修会について
R2 年 1 月 23 日 (木) 19:00~21:00	射水市役所 202 会議室	6 名	・介護者アセスメント票のプレテスト結果報告 ・市内介護保険サービス事業所へのアンケート調査結果報告 ・介護者支援パンフレットの検討 ・介護者支援研修会について

・情報共有ツールワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R 元年 7 月 2 日 (火) 19:00~21:00	射水市役所 303 会議室	7 名	・多職種連携支援システム (ICT ツール) の利用の流れと利用規約等の確認 ・システム利用申請書・説明用チラシ・同意書等の作成
R 元年 8 月 6 日 (火) 19:00~20:45	射水市役所 202 会議室	7 名	・市内事業所向け説明会の開催準備
R2 年 2 月 5 日 (水) 19:00~20:30	射水市役所 304 会議室	6 名	・システム導入状況の報告 ・情報共有等の課題について

・住民普及啓発ワーキング部会

月日	会場	出席者数	検討内容
R 元年 7 月 23 日 (火) 19:00~20:30	射水市役所 201 会議室	7 名	・「在宅医療と介護を考える市民公開講座」の実施について (講師、内容等の協議・決定) ・住民への普及啓発方法の検討
R 元年 12 月 9 日 (月) 19:00~20:00	射水市役所 303 会議室	7 名	



令和元年度在宅医療・介護連携支援相談窓口 実施状況

1 相談対応件数

	住民相談		医療機関・包括等からの相談	
	延件数	月平均	延件数	月平均
H29年度 (H29.6 窓口設置)	22	2.2	43	4.3
H30年度	53	4.4	92	7.7
R元年度 (R2.1 月末現在)	36	3.3	63	5.7

2 相談内容の抜粋

対象	内容	対応
92歳女性	地域包括支援センターより 娘と二人暮らし。娘の要求が高く、ケアマネジャーや介護サービス事業所の変更を繰り返している。	関係機関との支援方針の協議。サービス担当者会議の開催。
62歳男性	地域包括支援センターより 独居で糖尿病の理解が薄いため、必要な入院を継続できない。自宅も不衛生で金銭管理も難しい方への支援についての相談	関係機関との連絡調整。地域ケア会議の開催。

3 その他の業務

(1) 医療・介護サービス資源の把握

市ホームページで「いみず医療介護情報」を公開、内容更新

(2) 射水市在宅医療・介護連携推進協議会の開催 (年3回)

- ・在宅医療介護提供体制ワーキング部会 (年3回)
- ・情報共有ツールワーキング部会 (年3回)
- ・住民普及啓発ワーキング部会 (年2回)

(3) 射水市終活支援ノートの配布 (H31.3月から)

医療や介護が必要となっても本人や家族の状況に応じて自分らしい暮らしを選択していただけるよう住民意識の向上を図ることを目的に「射水市終活支援ノート“思いを伝えるノート”」を作成し地域福祉課及び地域包括支援センター窓口にてノートを配布。また地域の団体へ出前講座を実施し、普及啓発。

(4) 射水市多職種連携支援システムの運用管理

R1.10月からシステム運用開始。

市内施設からの利用登録および在宅療養者の情報共有のための登録等を行うなどのシステム管理やシステムを活用するための運用支援。

